

合併処理浄化槽が支える自然環境

生活には多くの水を使用しています。合併処理浄化槽はトイレの汚水だけではなく、台所やお風呂・洗面所から出る生活排水も同時にきれいにする浄化槽です。また、浄化槽には、し尿のみ処理する単独処理浄化槽もあります。※現在新たに設置できるのは、合併処理浄化槽のみ

浄化槽設置整備事業

平戸市では、新たな合併処理浄化槽の設置や汲み取り、または単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する補助金を交付しています。



詳細はこちら▼

浄化槽の維持管理

浄化槽は、槽内で働く微生物の力で汚水をきれいにする設備です。そのため、適切な維持管理を行わなければ、本来の浄化機能を十分に発揮できません。浄化槽の機能が低下すると、悪臭や地域の生活環境の悪化の原因になるため、法律に基づく保守点検や清掃、法定検査を適正に実施しましょう。



▲合併処理浄化槽

問 市民課生活環境班 ☎22-9121

図 観光課観光振興班 ☎22-9140



▲来場者 30 万人目となった狩野桃香さん（中右）と篠崎海人さん（中左）

歴史の節目を刻む、平戸城30万人来場

8月11日、平戸城の来場者数が令和3年4月のリニューアルから累計30万人を突破しました。30万人目となったのは、この日、観光で平戸城を訪れた狩野桃香さん（福岡県北九州市）と、篠崎海人さん（愛知県碧南市）のお2人で、松尾市長と平戸城の運営管理会社である株式会社狼煙の小林総支配人から記念品が贈呈されました。

30万人という節目を迎えた平戸城。これからも、平戸の歴史や文化を伝える観光施設として、次の節目に向けて歩みを進めていきます。

図 商工物産課物産振興班 ☎22-9141



▲レジ通過者 500 万人目となった野田努さんご家族

500万人が生んだ平戸瀬戸市場のにぎわい

8月12日、平戸市田平町にある平戸瀬戸市場では、レジ通過者が累計500万人を突破しました。記念すべき500万人目となった諫早市の野田努さんご家族には、松尾市長と平戸瀬戸市場協同組合の福海組合長から記念品が贈呈されました。

平成24年2月のオープン以来、平戸市の新鮮な農水産物や加工品などを販売してきた平戸瀬戸市場ですが、今後も平戸の「おいしい」を届け、魅力を発信する場所として、さらなる利用の広がりが期待されます。

平戸市ホームページに活動報告を随時掲載します。ぜひご覧ください。▶



地域おこし協力隊活動報告 vol.19

紙漉の里をたくさんの人が集う場所へ

そのだ 美貴 隊員

図 企画課移住・定住政策班 ☎22-9105

交流拠点として楽しんでもらえる施設を目指して

紙漉の里は自然豊かで、訪れる人がゆったりとした時間を過ごせる場所です。特に夏には、そうめん流しや沢登り体験などのメニューがあり、暑い時期でも自然を存分に楽しめる体験メニューが充実しています。

今年は例年以上ににぎわいを見せ、地元の小中学生はもちろん、北海道枝幸町から交流で訪れた生徒の皆さんにもお越しになりました。そうめん流しや沢登りのほか、紙漉き体験、すいか割りなど、自然と伝統文化に触れられる多彩なプログラムを楽しんでもらい、子どもたちからは喜びの声がたくさん寄せられました。

また、季節を問わず参加できるワークショップも随時開催しており、糸掛けアートやピザ窯を使った本格ピザづくり体験など、幅広い年代の人に楽しんでもらえる内容です。ご家族や友人同士はもちろん、地域の交流の場



▲森の冷気に包まれる沢登り体験



▲そうめん流しに挑戦



▲制作した糸掛けアート



▲ピザ窯で焼いた本格ピザ

村リーグ

先日、サッカーのワールドカップが終わりました。中国代表は残念ながらワールドカップでは出番が少なかったものの、サッカーは中国で人気のあるスポーツの一つです。近年、中国では「村超」と呼ばれる大会が注目されています。「村のスーパーリーグ」を略した言葉で、2023年に貴州省榕江県で始まりました。山あいの少数民族地域で、かつては貧困県だったこの場所、サッカーは村全体の祭りへと発展しました。

選手は農家や大工、教師、店員など、地元で暮らす普通の人々で、試合の日には、民族衣装を着た応援団が歌い踊り、賞品には牛や豚が贈られるなど、地域らしさがあります。



▲緑のピッチで踊る少数民族の人々（撮影：貴陽老六）



国際交流員
張 芸
(チョウ・ゲイ)
(中国出身)

問 文化交流課交流推進班 ☎22-9143